

PF-UA 総会議事メモ案

日時：2013年3月15日(金)15時35分～16時30分

場所：つくば国際会議場中ホール 300

議題：

1. 幹事報告

- 庶務
- 教育小委員会 院生奨励課題について
- 会計

2. 審議事項

- 会則・細則の変更

定足数の確認(委任状も含めて定員の 1/50 で成立)

議事に先立ち、佐々木聡氏(東工大)が議長に選出された。

会長挨拶

1. 幹事報告

➤ 庶務

- ・懸念された無料化による財政基盤は賛助会員、企業展示・広告の収入で確保された。
- ・他のユーザーコミュニティと協力して、来年度も物構研サイエンスフェスタを共催する。
- ・ビームタイム削減に対する対応 機構長、文科省へ要望書を提出した。
- ・第1回先進的観測技術研究会を共催した。
- ・BL-4Aの今後の運営について 戦略将来計画小委員会と関連するUGで検討を開始する予定。
- ・選挙管理 次期会長選挙(副会長)を来年度中に実施予定。

➤ 教育担当

- ・教育小委員会からの報告

院生奨励課題(E型)について詳細な説明と提案

総会で審議・承認された後PFに提案し、7月のPF-PACを経て11月から課題募集を実施したい。

Q) 〆切を通常課題より遅くして、その後のプロセスはPAC課題と同じになるようだが日程的に大丈夫なのか。

A) 2週間程度なので問題ないと思う。

Q) 人材を養成した後の行く先をどうするのか。

A) 大学だけで研究しているよりは学生にとっても大いにプラスになると思う。又、学

生のプレゼンスを高めるように周りがサポートする。

Q) PFにいる総研大にとって不利ではないか。

A) 総研大も課題を申請できる。ただ、総研大生に対しては2人(指導教員とPFスタッフ)での共同指導という形にならないのでフェアでないという見方もある。

Q) ビームタイムをたくさん持っているラボとそうでないラボの学生との間に格差が生まれるのではないか。

A) 低きに流れるのか、敢えてハードルを上げてチャレンジするかは学生自身の選択なので不公平感はないと思う。この課題を申請したことが履歴にかけるくらいのものでありたい。

承認される。

➤ 会計幹事

賛助会員、企業展示・広告の収入で中間報告ではあるが、単年度では黒字となる。

2. 審議

➤ 会則・細則の変更

会則：第2章第5条の変更 → 総会で承認される

細則：第6条2項と第9条、第13条の変更→運営委員会承認の件を報告